

2026 年 8 月 4 日
アジア航測株式会社
(コード番号 9 2 3 3 スタンダード市場)

アジア航測 CVC 成層圏 HAPS を開発する
Kea Aerospace 社(ケア エアロスペース)へ出資

アジア航測株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 畠山仁、以下「当社」）は、Kea Aerospace Ltd.（ケア エアロスペース、本社：ニュージーランド、CEO：Mark Rocket、以下「Kea Aerospace」）に出資したことをお知らせいたします。

Kea Aerospace は、太陽光発電により成層圏で長期滞空が可能な HAPS（High Altitude Platform Station）の開発を行っています。Kea Aerospace が開発を進めている「Kea Atmos」（ケア アトモス）は、上空からの監視・観測目的に最適化して設計されており、洋上船舶や自然災害に対する高頻度な監視や、人工衛星と比べて精密な地上測量など、幅広い用途に対応可能です。CEO の Mark Rocket 氏は複数回の Exit 経験を持つリアルアントレプレナーです。また、ニュージーランドで起業され、後に米国に移り NASDAQ に上場した Rocket Lab Corporation（RKLB）の共同創業者であり、同社でディレクターを務めた経験があります。

当社は、空間情報の取得から利活用提案まで一貫したサービスを行っており、センシング技術や AI 等の解析技術を保有しています。空間情報の専門家として、求められる成果に対し、最適な空間情報の取得方法や外部情報を選択し、提案することが可能です。また、レジリエンス（防災等）を中心に、これまで世界 30 か国以上でプロジェクト運用実績があります。

中長期的には「Kea Atmos」を用いたレジリエンス関連事業を中心に、グローバル協業を検討してまいります。コア技術である空間情報技術を基軸にスタートアップ企業と共創し、社会課題の解決に向けた新たな事業活動を推進いたします。

なお、今回の取り組みは、2023 年 10 月にスタートした長期ビジョン 2033「空間情報技術で社会をつなぎ、地球の未来を創造する」に掲げる事業戦略を推進する施策のひとつであり、その第 1 フェーズである中期経営計画 2026 の新規事業戦略の位置付けとなります。

■Kea Aerospace について

社名：Kea Aerospace Ltd.

所在地：10 Sir William Pickering Drive, Burnside, クライストチャーチ、ニュージーランド

代表者 CEO：Mark Rocket

URL：<https://www.keaaerospace.com/>

■アジア航測株式会社について

1954 年設立。航空測量業界内で唯一自社航空機を保有・運航し、最先端の計測技術や AI 等を活用した解析技術を活かして、国土保全や社会インフラのマネジメント、行政支援サービス等、空間情報コンサルタントとして幅広く事業を展開しています。地震や豪雨被害等の大規模災害が発生した際には、その強みを活かし、迅速に空中写真撮影および現地調査を行い、被害状況について独自技術を用いた情報公開や関係機関への情報提供も行っています。

URL：<https://www.ajiko.co.jp/>

以 上

【お問い合わせ先】

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-2-2

<https://www.ajiko.co.jp/>

■報道機関窓口

経営戦略本部 経営企画部（広報）

E-mail：aas-prteam@ajiko.co.jp

■事業に関する問い合わせ先

新規事業創造本部 CVC 室

E-mail：info_cvc@ajiko.co.jp